

社団法人日本新体操連盟

平成 20 年度第 1 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 20 年度第 1 回理事会
2. 日時： 平成 20 年 5 月 29 日(木)11 時 00 分～11 時 50 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32 「麻布霞会館・202 号室」
4. 構成員現在数： 21 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長） 福本 隆（副 会 長） 荒井 隆（専務理事）
石崎 朔子（常務理事） 渡辺 守成（常務理事） 池田真喜子（理 事）
崇島 慎一（理 事） 橋本 千波（理 事） 藤島八重子（理 事）
山崎 浩子（理 事）
朝倉 正昭（副会長） 高橋 明（副 会 長） 関田史保子（常務理事）
秋山エリカ（理 事） 岩本 晃（理 事） 上村 郁子（理 事）
谷口 裕代（理 事） 谷原 誠（理 事） 田中 元（監 事）
以上 19 名（うち委任状出席 9 名）
6. 欠席役員： 岡 久留実（理 事） 横田 章（監 事）
以上 2 名
7. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 20 年度第 1 回総会-平成 19 年度事業報告-について
(定款第 5 章関連事項)
第 2 号議案 平成 19 年度功労賞・最優秀選手賞決定の件
第 3 号議案 その他

8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

(社)日本新体操連盟・定款第 24 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を渡辺守成常務理事と崇島慎一理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 25 条の定めにより、理事会出席者数委任状含めて 19 名であることが池田理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、荒井隆専務理事が進行を務めるよう依頼した。

第1号議案 平成20年度第1回総会-平成19年度事業報告-について(定款第5章関連事項)
議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成19年度の事業報告、決算報告を承認する総会が6月16日(月)12時より、開催する。場所は追ってご連絡する。

各事業の報告は昨年度に行われてきた理事会にて説明済みであるが、報告総会に向けて再度説明させて頂く。

登録について

まず本連盟の会員数を示す「登録クラブ数」が平成19年度553クラブと18年度に比べ40ほど増えている。各都道府県からも登録されており、登録なしの都道府県はない。

事業報告について

第16回全日本新体操クラブ選手権 8月12日から14日 東京体育館 214クラブ 642名

第7回全日本新体操クラブ団体選手権 9月9日 東京体育館 114クラブ 724名

イオンカップ2008世界新体操クラブ選手権 10月5日から7日 東京体育館 17クラブ 51名

第10回全日本新体操チャイルド選手権・第7回全日本新体操キッズコンテスト

2月22日から24日 東京体育館 401クラブ 908名

と以上の様な内容で開催された。団体選手権では当初50チームに満たなかったが、倍以上の参加を集めるまでに大きくなった。イオンカップではNPOぎふ新体操クラブの横山加奈選手が3位に入る健闘を見せた。

セミナーについて

平成19年度では初級集中講義2回、上級セミナー7回、海外セミナー1回、審判セミナー3回の計13回実施した。

質疑・報告

1. 二木会長よりセミナー受講者数が減ってきているのが気になることの見解があった。
2. 渡辺常務理事より、本連盟は大会だけではなくバッジテストとセミナーを重視していき、若手コーチを育てていくこと。セミナーは選手育成分野と愛好者拡大分野に分けることが望ましいのではいかと意見があった。
3. 藤島理事より、指導者と選手の心のつながりが弱い。心のつながりを作ることが必要であるとの意見があった。
4. 二木会長より、指導者、選手に夢を持たせることが重要である。野球だとプロ野球選手になりたいとあるように、新体操もオリンピック選手になりたい、育てたいと思うような夢を持たせるような機会の創設を考えるべきであると意見があった。
5. 橋本理事より指導者は試合最優先となっているため、世界と触れ合える場を設けることが必要であると意見があった。
6. 石崎常務理事より、世界との差を見せる場、例えば海外の試合を観戦するような場を設けてはどうかと意見があった。

以上の質疑の後、今後新事業開催の検討していくこととなった。

収支決算報告について

平成 19 年度の収支決算として主なところを説明。

全日本新体操チャイルド選手権 収入 22,003,224 円 支出 11,464,532 円

全日本新体操クラブ選手権 収入 14,153,628 円 支出 13,135,475 円

全日本新体操クラブ団体選手権 収入 7,247,033 円 支出 5,420,074 円

イオンカップ世界新体操クラブ選手権 収入 216,193,409 円 支出 210,360,220 円

が主なところであり、

基本財産運用、会費、事業、補助金等収入合計が 284,639,204 円

事業費、管理費等支出合計が 283,010,643 円

となり、当期収支差額が 1,628,561 円となった。

質疑・報告

1. 二木会長より、公益法人改革による会計変更などを熟知し対応するよう指示があった。

第2号議案 平成 19 年度功労賞・最優秀選手賞について(定款第 5 章関連事項)

議長は説明者として池田理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

毎年、本連盟では年間功労賞と最優秀選手賞を授与している。昨年度では功労賞をキャノンマーケティングジャパン株式会社相談役 武本 秀治 様、最優秀選手賞を第 16 回クラブ選手権シニア個人総合優勝のイオン 横地愛選手に授与した。

今年の授与者の決定をお願いしたい。

討議の結果

功労賞 現社団法人日本新体操連盟副会長 高橋 明 様

最優秀選手賞 イオン 横地 愛 選手

日本体育大学大学院 村田 由香里 選手
に授与することが決定した。

第3号議案 その他

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5)閉会宣言

議長は他に質問、意見がないこと及び次回総会が6月16日に予定することを確認し、理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 20 年 5 月 29 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 20 年度第 1 回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 渡 辺 守 成

同 崇 島 慎 一